

2026(令和8)年度 入学試験問題
編入学(学士入学を含む)試験

経済学部 経済学科

専門(ミクロ経済学・マクロ経済学)

【注意】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は10時00分から11時30分まで(90分間)です。
3. この問題冊子は表紙以外に2ページあり、解答用紙は2枚あります。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
6. 受験者本人の特定につながるような氏名、住所、学校名等は記述しないでください。
7. 解答用紙を持ち出してはいけません。持ち出した場合、試験をすべて無効とします。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問1 (計 35 点) 以下のすべての問題に答えなさい。

1. 以下の問いに答えなさい。

- (1) 代替財と補完財とは何か説明しなさい。(5 点)
- (2) 価格以外の要因で需要が増加する時、需要曲線はどのようになるかをグラフを用いて説明しなさい。(5 点)

2. ある財の供給に際して外部不経済が生じる状況、すなわち生産者の私的費用と社会的費用が乖離する状況を考える。生産者が、社会的費用を考慮せずに生産量を決定する場合、財の供給曲線 S^P は以下で与えられる。

$$(S^P) \quad S = 200P - 200$$

ここで、 S は供給量、 P は価格を意味する。一方、生産者が、社会的費用を考慮に入れて生産量を決定する場合(すなわち生産者が社会的費用を負担する場合)、財の供給曲線 S^S は以下で与えられる。

$$(S^S) \quad S = \frac{200}{3}P - \frac{200}{3}$$

また、この財の需要曲線は以下で与えられる。

$$D = -200P + 1000$$

ここで、 D は需要量を意味する。このとき、以下の問いに答えなさい。

- (1) 生産者が社会的費用を考慮に入れて生産量を決定する場合の均衡価格と均衡取引量を求めなさい。(5 点)
- (2) 生産者が社会的費用を考慮に入れて生産量を決定する場合の社会的余剰を求めなさい。(5 点)
- (3) 生産者が社会的費用を考慮に入れずに生産量を決定する場合の均衡価格と均衡取引量を求めなさい。(5 点)
- (4) 生産者が社会的費用を考慮に入れずに生産量を決定する場合の社会的余剰を求めなさい。(10 点)

問2 (計 35 点) 以下のすべての問題に答えなさい。

1. 以下の 45 度線モデルを考える。

$$Y^d = C + I + G$$

$$C = 40 + 0.5 \times (Y - T)$$

$$I = 100$$

$$G = 100$$

$$T = 0.2 \times Y$$

$$Y^f = 500$$

ここで、 Y^d は総需要、 C は消費需要、 I は投資需要、 G は政府支出、 T は租税、 Y は GDP (総所得)、 Y^f は完全雇用 GDP を意味する。

- (1) 均衡 GDP (均衡総所得) を求めなさい。(4 点)
- (2) 均衡における財政収支 (=租税 - 政府支出) を求めなさい。(4 点)
- (3) 政府支出乗数を求めなさい。(4 点)
- (4) 他の条件を一定として政府支出が今の 100 からどれだけ変化すれば、均衡において完全雇用が成立するかを求めなさい。(4 点)
- (5) 他の条件を一定として政府支出が今の 100 からどれだけ変化すれば、均衡における財政収支がゼロになるかを求めなさい。(4 点)

2. 以下の問いに答えなさい。

- (1) 名目 GDP と実質 GDP の違いを説明しなさい。(3 点)
- (2) LM 曲線の定義を説明しなさい。(3 点)
- (3) 流動性の罍とは何かを説明しなさい。(3 点)
- (4) クラウディング・アウトとは何かを説明しなさい。(3 点)
- (5) 貨幣供給量 (マネーストック) の指標の 1 つである M1 の定義を説明しなさい。(3 点)